

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		都市計画課		都市整備係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理			
事業名	新生町街区公園整備事業								
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市公園費	目	5	公園費
	細目	4	新生町街区公園整備事業費	細々目	1	新生町街区公園整備事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
新生町地区には都市公園がなく、公園の整備について長年にわたり強い要望があった。平成20年6月に、小野田湾岸道路の一部が完成し、市道の新設改良にあわせて平成21年度から公園工事に着手、平成22年度に完了した。		すべての市民が公園を気軽に利用できるようにする。		市民・企業・行政が協働して、街区公園等の身近な公園を整備する。			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
1年間に整備した街区公園の面積			歩いて行ける公園(街区公園)の整備数				
目標値(ha)		実績値(ha)		目標値A(箇所)		実績値B(箇所)	
0.31		0.31		48		48	
100 %							

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	工事請負費	49,000	32,814,131	財(源割内合訳)	国庫支出金(99.8)	24,500	32,750,000
	負担金、補助及び交付金	76	75,600		県支出金()		
					地方債()	18,432	
					その他()		
			一般財源(0.2)		6,144	139,731	
合計		49,076	32,889,731	合計		49,076	32,889,731
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.75	4,710,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課	題	改善策
なし		なし

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		都市計画課		都市整備係		No	2		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理			
事業名	東沖緑地整備事業								
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	2	公園費
	細目	8	東沖緑地整備事業	細々目	1	東沖緑地整備事業	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	新規	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
平成23年の国体では、東沖緑地に隣接するサッカー交流公園は、少年サッカーのメイン会場となっており、選手、観客等来園者の利便性を高め、東沖緑地のイメージアップを図るためにも、園路整備とトイレの水洗化を実施した。		公園利用者の衛生環境を改善する。		公園利用者の利便性を図るため、都市公園のトイレを下水道に接続し、水洗化を図る。	
活動指標			成果指標		
整備施設数			対象施設の水洗化整備率		
目標値(箇所)		実績値(箇所)		目標値A(%)	
2		2		100	
				100	
			成果指標の到達度(B/A)		
			100		
			%		

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	工事請負費	10,000	9,351,300	財(源割内訳)	国庫支出金	(100)	10,000
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		()		
合計		10,000	9,351,300	合計		10,000	9,351,300

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.25	1,570,000

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課	題	改善策
なし		なし

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		都市計画課		都市整備係		No	3		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理			
事業名	有帆公園整備事業								
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	2	公園費
	細目	7	有帆公園整備事業	細々目	1	有帆公園整備事業	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	新規	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
県道工事で交換した用地を有帆公園として地元と協働して整備した。		地元と協働して、公園の機能の向上を図る。		地元・行政が協働して、街区公園等の身近な公園を整備する。	
活動指標			成果指標		
公園整備数			対象整備率		成果指標の到達度(B/A)
目標値(箇所)		実績値(箇所)		目標値A(%)	実績値B(%)
1		1		100	100
					100%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)	
支出内訳	工事請負費	1,000	840,000	財(源割内合訳)	国庫支出金	(100)	1,000	840,000
					県支出金	()		
					地方債	()		
					その他	()		
			一般財源		()			
合計		1,000	840,000	合計		1,000	840,000	
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)					
		0.05	314,000					

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
なし	なし

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		都市計画課		都市整備係		No	4		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理			
事業名	開設公園整備事業								
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	3	緑地公園費
	細目	1	緑地公園費	細々目	4	開設公園整備事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務				予算種別	新規	臨時	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
小野田中央公園の故障した噴水を改修した。		故障した噴水を改修し、利用者に憩いを与える公園施設の機能の回復を図る。		開設公園の老朽化した施設、または、利便性の悪くなった施設及び遊具を改修する。	
活動指標			成果指標		
公園整備数			対象整備率		成果指標の到達度(B/A)
目標値(箇所)		実績値(箇所)		目標値A(%)	実績値B(%)
1		1		100	100
					100%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)	
支出内訳	工事請負費	3,300	2,887,500	財(源割内合訳)	国庫支出金	(100)	3,300	2,887,500
					県支出金	()		
					地方債	()		
					その他	()		
			一般財源		()			
合計		3,300	2,887,500	合計		3,300	2,887,500	
人件費概算		人工数(人役)	人件費(千円)					
		0.05	314,000					

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
なし	なし

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		都市計画課		都市整備係		No	5		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理			
事業名	開設公園維持管理事業								
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	3	緑地公園費
	細目	1	緑地公園費	細々目	2	開設公園維持管理事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	新規	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
竜王山オートキャンプ場の電気設備を改修した。	利用者が安心して利用できる公園の機能の回復を図る。	開設公園の老朽化した施設、または、利便性の悪くなった施設及び遊具を改修する。		
活動指標		成果指標		
公園整備数		対象整備率		成果指標の到達度(B/A)
目標値(箇所)	実績値(箇所)	目標値A(%)	実績値B(%)	
1	1	100	100	100%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	工事請負費	1,000	746,550	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 (100)		1,000	746,550	
合計		1,000	746,550	合計		1,000	746,550
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	314,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
なし。	なし。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		都市計画課		都市整備係		No	6		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理			
事業名	市内一円児童公園水洗化事業								
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	3	緑地公園費
	細目	3	市内一円児童公園水洗化事業	細々目	1	市内一円児童公園水洗化事業	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	新規	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
下水道の供用開始区域にある公園を順次水洗化する。	公園利用者の衛生環境を改善する。	公園利用者の利便性を図るため、都市公園のトイレを下水道に接続し、水洗化を図る。	
活動指標		成果指標	
整備施設数		対象施設の水洗化整備率	
目標値(箇所)	実績値(箇所)	目標値A(%)	実績値B(%)
1	1	100	100
			成果指標の到達度(B/A)
			100%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	工事請負費	1,800	1,592,850	財(源割内合訳)	国庫支出金(100)	1,800	1,592,850
					県支出金()		
					地方債()		
					その他()		
			一般財源()				
合計		1,800	1,592,850	合計		1,800	1,592,850
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	314,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
なし	なし

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		都市計画課		都市整備係		No	7		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理			
事業名	緑地公園一般管理事業								
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	3	緑地公園費
	細目	1	緑地公園費	細々目	1	緑地公園一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	新規	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
小野田中央公園の老朽化した遊具を改修した。		利用者が安心して利用できる公園の機能回復を図る。		開設公園の老朽化した施設、または、利便性の悪くなった施設及び遊具を改修する。	
活動指標			成果指標		
公園整備数			対象整備率		成果指標の到達度(B/A)
目標値(箇所)		実績値(箇所)	目標値A(%)	実績値B(%)	100
1		1	100	100	%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	工事請負費	10,040	10,040,100	財(源割内訳)	国庫支出金 (100)	10,040	10,040,100
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()				
合計		10,040	10,040,100	合計		10,040	10,040,100
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.25	1,570,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
なし	なし

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		都市計画課		都市整備係		No	8		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理			
事業名	公園施設災害復旧事業								
予算費目	款	8	災害復旧費	項	3	公共土木施設災害復旧費	目	2	公園施設災害復旧費
	細目	1	公園施設災害復旧費	細々目	1	公園施設災害復旧費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	新規	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
平成22年7月の大雨で被災した公園施設を補修した。(天満町児童公園災害復旧工事・桜川通線太陽光照明災害復旧工事・竜王山公園法面災害復旧工事)		利用者が安心して利用できる公園の機能回復を図る。		災害で被災した施設を改修する。	
活動指標			成果指標		
公園補修数			対象補修率		成果指標の到達度(B/A)
目標値(箇所)		実績値(箇所)	目標値A(%)	実績値B(%)	100 %
3		3	100	100	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	工事請負費	12,576	8,417,168	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 (100)		12,576	8,417,168	
合計		12,576	8,417,168	合計		12,576	8,417,168
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	314,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課	題	改善策
なし		なし

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		都市計画課		管理緑地係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理			
事業名	開設公園維持管理事業								
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	3	緑地公園費
	細目	1	緑地公園費	細々目	1	緑地公園一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 (都市公園法)			予算種別	継続			

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
市民が快適に生活できるよう、公園の維持管理を適切に行う。		都市公園法に規定される都市公園		清掃・草刈・剪定・設備保守等を委託する。管理協定を締結している公園については、清掃・草刈等の日常的な維持管理を地元で行い、その他について市又は指定管理者が行う。	
活動指標			成果指標		
			管理委託公園数(指定管理を含む)		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
		60		100	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	16,435	17,518,409	財(源割内合訳)	国庫支出金()		
	役務費	5,069	4,088,760		県支出金()		
	委託料	18,302	18,286,229		地方債()		
	その他	693	584,689		その他(3.7)	2,100	1,491,000
					一般財源(96.3)	38,399	38,987,087
合計		40,499	40,478,087	合計		40,499	40,478,087
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.35	2,198,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
老朽化した公園施設が多く、改修の必要がある。	緊急度の高いものから順次改修を進めていく。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		都市計画課		管理緑地係		No	2		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理			
事業名	県立江汐公園指定管理者事務事業								
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	3	緑地公園費
	細目	1	緑地公園費	細々目	1	緑地公園一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 (都市公園法)			予算種別	継続			

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
昭和38年に市都市公園として供用開始後、昭和48年から県立公園として本格的な整備が始まり、現在に至っている。また、平成18年度からは市が指定管理者となっている。	江汐公園指定管理者としての維持管理運営事業	公園施設の清掃・草刈等の維持管理作業や有料公園施設の運営業務を行う。	
活動指標		成果指標	
		前年度を上回る利用者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(人)	実績値B(人)
		151,820	166,300
			成果指標の到達度(B/A)
			110%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	2,500	3,426,352	財源割内訳	国庫支出金	()	
	役務費	150	142,437		県支出金	()	
	委託料	19,555	19,048,423		地方債	()	
					その他	(100)	22,205
			一般財源		()		
合計		22,205	22,617,212	合計		22,205	22,617,212
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.45	2,826,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
市が指定管理者として維持管理を行っているが、今後市に移管された場合の維持管理体制や方法についての検討が必要。	他の公園と同様に指定管理を導入することが有効な施設と考えられる。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		都市計画課		管理緑地係		No	3		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理			
事業名	指定管理者委託事務事業								
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	3	緑地公園費
	細目	1	緑地公園費	細々目	1	緑地公園一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 (地方自治法、都市公園法)			予算種別	継続			

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
行政コストの削減と市民サービスの向上のため、施設の指定管理を行う。	竜王山公園オートキャンプ場、都市公園、緑地公園の指定管理	施設の清掃、草刈、剪定等の維持管理及び有料公園施設の管理運営	
活動指標		成果指標	
指定管理施設数		有料公園施設の利用者数	
目標値(箇所)	実績値(箇所)	目標値A(人)	実績値B(人)
60	60	47,286	39,269
			成果指標の到達度(B/A)
			83%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	64,880	64,880,000	財(源割内合訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		(100)	64,880	64,880,000
合計		64,880	64,880,000	合計		64,880	64,880,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.35	2,198,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
指定管理者との連絡体制が不十分な面がある。	要望苦情があるときだけでなく、日常の管理等について月次報告書以外に定期的な連絡・報告体制を整える。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		都市計画課		都市整備係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	2	緑地の保全			
事業名	松くい虫防除事業								
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	3	都市公園費
	細目	1	緑地公園費	細々目	1	緑地公園一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
市が管理する都市公園の系根地区公園は、かつて「糸根の松原」と呼ばれる砂浜で、園内の松の大木は市文化財に指定されている。中には樹齢100年を超える大木も見られる。 松枯れの原因であるマツノザイセンチュウはマダラカミキリを介して松の樹幹に進入して松を枯らす。これを防ぐ方法は、薬剤の空中散布か薬剤を注入して進入するセンチュウを殺す予防接種しかない。		公園・緑地の保全を目的として、系根地区公園の松を貴重な遺産として後世に伝える。		適切なサイクルで松に樹幹注入を実施し、松枯れを防止する。	
活動指標			成果指標		
注入木本数			松の本数		成果指標の到達度(B/A)
目標値(本)		実績値(本)		100	
49		49		114	
			%		

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	693	653,000	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 (100)		693	653,000	
合計		693	653,000	合計		693	653,000

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.1	628,000

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
なし	なし

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		都市計画課		都市整備係		No	2		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	2	緑地の保全			
事業名	竜王山公園環境美化事業								
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市公園費	目	3	緑地公園費
	細目	1	緑地公園費	細々目	1	緑地公園一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
竜王山公園は50haに約1万本の桜を有する公園である。近年、タフナ菌の孢子によって発病するテングス病の桜が確認されている。このテングス病は発病から10年以内に木が枯れて、倒木の危険もあるので、テングス病患部の枝を除去し、病気の感染を防止する必要がある。		竜王山公園の桜を貴重な観光資源として後世に伝える。		テングス病にかかった桜の患部を除去し、病気の感染を防止する。	
活動指標			成果指標		
テングス病処理本数			テングス病処理率		
目標値(本)		実績値(本)		成果指標の到達度(B/A)	
155		155		100	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	2,762	2,761,500	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 (100)	2,762	2,761,500
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()				
合計		2,762	2,761,500	合計		2,762	2,761,500
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	628,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
現在、本事業は緊急雇用創出事業臨時特例基金を財源として運営しているが、今後、基金がなくなれば、事業の運営が困難となる。	一般財源での予算要求をする。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		都市計画課		管理緑地係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	3	緑化の推進			
事業名	都市緑化推進事業								
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	3	緑地公園費
	細目	1	緑地公園費	細々目	1	緑地公園一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 (都市緑地法)			予算種別	継続			

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
昭和25年の国土緑化運動から始まった事業であり、都市計画課は山陽小野田市緑化推進協議会の事務局である。		森林資源の造成、国土の保全及び水資源のかん養並びに生活環境の緑化を図る。		山陽小野田市緑化推進協議会の活動である緑化啓発のための募金活動、苗木の配布、植樹の実施の支援を行う。	
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)
植樹の本数及び苗木の配布数			山陽小野田市緑化推進協議会の加入者件数		
目標値(本)		実績値(本)	目標値A(件)	実績値B(件)	
3,013		3,350	15,517	16,123	
					104
					%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	90	90,000	財(源割内合訳)	国庫支出金()		
	使用料及び賃借料	142	126,000		県支出金()		
	負担金補助及び交付金	610	160,000		地方債()		
					その他()		
			一般財源(100)		842	376,000	
合計		842	376,000	合計		842	376,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.55	3,454,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
毎年度継続実施している事業がほとんどであり、目新しさが無いことから、今以上の市民の認知と理解を得る状況にない。	理事会で出された意見や提案を積極的に検討したい。

事業の方向性(一次評価)	
B	事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要

その他	
-----	--